

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

#### ● アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比 (PAC/PRA比)

(依頼コード No.13558)

#### ● アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比 (PAC/ARC比)

(依頼コード No.13559)

受託開始日 2022年1月24日(月) ご依頼分より

2021年10月16日に日本内分泌学会から「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」が発刊され、CLEIA法による血漿アルドステロン(PAC)および、血漿アルドステロンとレニン活性(PRA)または活性型レニン定量(ARC)との比(ARR)が推奨されたと同時に、基準値(カットオフ値)の見直しも行われました。

弊社では、この日本内分泌学会の新ガイドラインが推奨する基準値(カットオフ値)を採用した血漿アルドステロン/レニン活性比(PAC/PRA比)および血漿アルドステロン/活性型レニン定量比(PAC/ARC比)の受託を開始いたします。

#### 【参考URL】

(一社)日本内分泌学会 監修: 原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021.

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/endocrine/97/S.October/97\\_1/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/endocrine/97/S.October/97_1/_article/-char/ja) (2022.1.14閲覧)

次ページに続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社: 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所: 〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

**Qualis**  
Medical Station

## アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比(PAC/PRA比)

ご依頼時は必ず下記3項目を同時にご依頼ください。

- 依頼コードNo.13558：アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比
- 依頼コードNo.13485：アルドステロン
- 依頼コードNo.01151：レニン活性

### 受託要領

依頼コードNo.	13558
検査項目名	アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比
統一コード	4D120-0000-022-919
所要日数	3~4
検査方法	計算法
基準値	<p>スクリーニング陽性基準            [原発性アルドステロン症 診療ガイドライン2021]より            ARR：アルドステロン/レニン比            PAC：血漿アルドステロン濃度            PRA：血漿レニン活性</p> <p>PAC(CLEIA法)とPRAを測定し、ARR(PAC/PRA比)が<math>\geq 200</math>かつPAC(CLEIA法)<math>\geq 60</math>pg/mLで陽性と判定。ただし、CLEIAによる測定値が普及、一般化し、CLEIA法による至適カットオフ値が確立するまでは、ARR 100~200をARR境界域と位置付け、ARR 100~200かつPAC(CLEIA法)<math>\geq 60</math>pg/mLも暫定的に陽性と判定。</p>
単位	なし
報告範囲	1~10000000
報告桁数	整数
備考	<p>日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値(アルドステロン/レニン活性比:200以下)をご利用される場合は、「依頼コードNo.13496:PAC/PRA」をご依頼ください。</p> <p>また、当該項目の総合検査案内備考欄に『基準値は「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値です。活性比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。』を追記させていただきます。</p>

#### 【検査方法の参考文献】

アルドステロン 佐藤文俊, 他: 医学と薬学 76, 1819-1826, 2019.  
 レニン活性 宇津貴央, 他: 医学と薬学 73, 311-321, 2016.

## アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比 (PAC/ARC比)

ご依頼時は必ず下記3項目を同時にご依頼ください。

- 依頼コードNo.13559：アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比
- 依頼コードNo.13485：アルドステロン
- 依頼コードNo.13518：活性型レニン定量

### 受託要領

依頼コードNo.	13559
検査項目名	アルドステロン(CLEIA)/活性型レニン定量比
統一コード	4D122-0000-022-919
所要日数	3~4
検査方法	計算法
基準値	<p>スクリーニング陽性基準            [原発性アルドステロン症 診療ガイドライン2021]より            ARR：アルドステロン/レニン比            PAC：血漿アルドステロン濃度            ARC：活性型レニン定量</p> <p>PRAの代替としてARCを用いる場合、ARR(PAC/ARC比)が<math>\geq 40</math>かつPAC(CLEIA法)<math>\geq 60\text{pg/mL}</math>で陽性と判定。ただし、アルドステロン(CLEIA)/レニン活性比の判定基準に準じてARR 20~40をARR境界域と位置付け、ARR 20~40かつPAC(CLEIA法)<math>\geq 60\text{pg/mL}</math>も暫定的に陽性と判定。</p>
単位	なし
報告範囲	1~10000000
報告桁数	整数
備考	<p>日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値(アルドステロン/活性型レニン定量比：40以下)をご利用される場合は、「依頼コードNo.13497：PAC/ARC」をご依頼ください。</p> <p>また、当該項目の総合検査案内備考欄に『基準値は「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値です。定量比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。』を追記させていただきます。</p>

#### 【検査方法の参考文献】

アルドステロン 佐藤文俊, 他: 医学と薬学 76, 1819-1826, 2019.  
 活性型レニン定量 佐藤文俊, 他: 医学と薬学 76, 1827-1832, 2019.